2006 年度

科目名 基礎ゼミⅡ	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 小林 健二
授業テーマ 『百人一首』を読む		
授業の概要と目標 『百人一首』は古くから親しまれている日本文学の一つです。誰もが一度はそこにあげられた和歌を口ずさんだことがあるでしょう。その『百人一首』を取り上げて、基礎的な古典文学作品の解釈と鑑賞を学んでいきます。		
評価方法 課題に取り組む姿勢（50%） 研究発表（50%）		
テキスト 『百人一首への招待』	著者 吉海直人	出版社 筑摩書房
参考書 授業中に紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① まずは、ガイドランスとして『百人一首』の成立について学びます。これだけ愛されている古典文学ですが、その作者が誰であるかを、ましては成立に関して知る人が少ないのは事実です。そこで、作者と作品について研究史を振り返りながら学び、作品に対する理解を深めていきます。 ② 基礎的な知識をつけたうえで、一人一人が好きな一首を選び、その和歌に対して正しい解釈を施し、その上で自分なりに鑑賞して発表してもらいます。 ③ 和歌の解釈には、用いられている言葉の大事さ、それを組み合わせて作者がどのようなイメージの世界を作り上げているかの読みときが大切になってきます。また、その和歌がどのように後世に受け入れられたかも、注釈史を通して発表してもらいます。 ④ 最後に、和歌に対する理解が深まったところで、みんなの『……一首』を作ってみましょう。		